

目標達成計画

事業所名 グループホームなぎさ

作成日：平成22年 3月17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	6	職員は身体的・精神的拘束の弊害をよく理解しており、自由でのびやかな生活ができるよう見守っている。外出傾向のある利用者に対しては、同行するなどして見守っているが、やむをえない場合には、安全性を優先して一時的に玄関を施錠することがある。	外出傾向のある利用者が穏やかに生活ができるように取り組む。	外出傾向のある利用者がストレスがたまらないように散歩や外出をして気分転換をする。魚の世話や食器拭きなどの手伝いを通して、役割を持ってもらう。日頃より利用者の要望を聞き、生活上の問題点を把握し、解決できるよう援助を行い、穏やかに過ごしてもらう。	12 か月	
2	33	重度化や終末ケアについて家族と話しあい、ホームの方針を伝えて、家族の意思を尊重しながら、家族、医師、看護師、職員が連携して取り組んでいるが、より理解しやすいマニュアルを作成し、身体・精神両面に関する学習を定期的実施することが望まれる。	重度化や終末ケアの理解しやすいマニュアルの作成と施設内外の研修の実施。	重度化や終末ケアを家族や職員が理解しやすいようにするため、図式化したマニュアルを作成する。施設内では勉強会を実施する。施設外では、研修会に参加し、研修内容を職員会で報告。全職員が重度化や終末ケアを理解し、実践する。	12 か月	
3	35	さらに分かりやすい災害時のマニュアルを作成し、マニュアルに沿った訓練を地域の防災組織の協力も得て、地域住民参加のもとで実施することが望まれる。また、立地面から津波等風水害に関するマニュアルも作成し、定期的に訓練を実施することを期待したい。	分かりやすい災害時のマニュアルの作成。津波等風水害のマニュアルの作成と定期的な訓練の実施。	分かりやすい災害時のマニュアルを作成する。津波等風水害のマニュアルを作成し、津波等風水害の訓練を火災時の避難訓練とは別に実施する。	12 か月	
4	1	地域との関係性や連携を大切にしたい理念について、来訪者や地域にも啓発するために、玄関への掲示についても検討を期待したい。	理念を来訪者や地域にも啓発するために、玄関への掲示をする。	利用者に理念を書いてもらい、両ユニットの玄関に掲示する。	1 か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。